

## ◆ 施設・事業所の概要 ◆

事業種別：特養、ショートステイ、デイサービス、  
ホームヘルプ、ケアハウス、就労継続支  
援、就労移行支援、生活介護

職員数：370人



## ご相談の内容

法人内に研修委員会を設置し、職場内で感染症対策や虐待防止等の集合研修に取り組んでいますが、徐々に研修を行うこと自体が目的となるなど手詰まり感があります。研修委員会のメンバーを中心に、改めて職場研修の意味や重要性について共通理解を図りたいので、支援をお願いします。

## 支援の内容

職場研修に関する理解を深めていただくため、職場研修の意義や進め方等のポイントをまとめたレジュメにより、30分程度のミニ講義を行った後、質疑応答を行いました。

ミニ講義では、①職場研修を行うこと自体が目的とならないようにするためには、職場の経営理念や目標を踏まえ、それを実現するための職員の具体的な行動という形で、求められる「職員像」を描き出し、それに近づくための研修を検討するという手順を踏むことが大切なこと、②「職場研修」というと、外部研修への参加や職場内での研修会の開催等をイメージしがちですが、それだけではなく、日常業務のあらゆる場面（打合せを行う時、業務を指示し職員が相談に来た時など）が職場研修（OJT）の機会となり得ること、すなわち職場研修とは、「職員育成のための活動の全体である」との共通理解のもと、意図的・計画的に取り組むことが大切であること等をアドバイスしました。

参加者からは、「今後は、集合研修だけではなく、日常業務の中での指導を意識したい」「サービス向上に結び付くような職場研修を考えたい」等の声が聞かれました。

## 職場研修アドバイザーからの一言アドバイス

- 職場研修とは“職員育成のための活動の全体”を指します。
- 職場の経営理念を踏まえ、求められる職員像を具体的な行動で描きます。
- 職場研修は、外部研修への参加や職場内での研修会の開催のみならず、日常業務のあらゆる機会を活用し、意図的・計画的に行うことが必要です。